



教育官会議

本年度事業の開始にあたって、ミグワニ県全5教育区を対象に4名の教育官を訪問した。本年度事業内で実施する教室建設・教室構造補修・土留め壁建設といった施設拡充活動、および特定校での早期妊娠予防のための研修実施校について協議した。

撮影場所:ミグワニ県グタニ郡ティタニ教育区教育官事務所
 撮影日:2013年3月12日
 ファイル名:1303hn004



県エイズ性感染症調整官会議

ムワンジル準区で、助役が当会との活動の住民集会にてHIV陽性者を隔離すべきとの発言をし、また村長老が差別を助長する発言をした。当会は、助役への教育方法について県エイズ性感染症調整官に相談したところ、当会スタッフと同官が助役を訪問することになった。同官はエイズ問題への取り組み姿勢について現行の保健施策を解説しながら、行政官としての適切な対応を説いた。

撮影場所:ミグワニ県グタニ郡ザタニ区ムワンジル準区助役事務所
 撮影日:2013年9月5日
 ファイル名:1309hn121



助役による修了書授与

当会からの働きかけにより、助役がエイズ・リーダー研修フォローアップ会議に参加することになった。研修修了者が今後も住民へ標準的なエイズ情報を共有していく活動に期待し、ひとりひとりに励ましの言葉をかけながら修了証を手渡した。

撮影場所:ミグワニ県グタニ郡ザワ区ムジニ準区カトリック教会
 撮影日:2014年3月5日
 ファイル名:1403hn025



早期妊娠予防研修:保護者向け研修

教育官が指定する特定校で実施する早期妊娠予防研修は、教員向け研修、保護者向け研修、子ども向け保健トークの計3日の研修である。写真は、保護者向け研修の様子で、参加男性が理科の教科書に「コンドームはHIV感染予防に有効である」と記載されている箇所を読んでいる。次の保健トークで、子どもにコンドームを教えるべきかを話し合う導入である。

撮影場所:ミグワニ県ミグワニ郡ムリニ小学校
 撮影日:2013年9月3日
 ファイル名:1309hn076



早期妊娠予防研修:子ども保健トーク

早期性交渉・早期妊娠予防のための保健トークを、小学校4年生から8年生までの生徒に対しておこなう。小学校教員も保健トークに参加し、子どもへの性的内容を含む話しの仕方を学んでもらう。保健トークの内容は、思春期の心身の変化、子どもたちが思春期に直面する困難を乗り越えるためのライフスキル、エイズ・性感染症・早期妊娠・中絶の危険性といった理科的知識など幅広い。写真は血液の接触によるHIV感染予防を説明している様子。

撮影場所:ミグワニ県ミグワニ郡ミグワニAIC小学校
 撮影日:2013年7月30日
 ファイル名:1307a0061



教員向け早期妊娠予防研修①

2年度10校、3年度10校での特定校での早期妊娠予防研修の成果をふまえて、教員エイズ教育研修第3課程を修了した教員を対象に、集合型の早期性交渉予防研修を6回実施し、160人が修了した。思春期の子供の心身の発達や性交渉から生じる課題などを知識として理解した上で、学校においてこれらの課題から子どもたちをどのように守っていくべきか話をした。

撮影場所:ミグワニ県グタニ郡ティタニTACホール
 撮影日:2014年2月11日
 ファイル名:1402u005



土壌保全と教室建設

ムリリニ小学校は、斜面に教室があり、土壌流出でいくつもの教室が倒壊している。左上写真の手前は4月に教室に隣接する倉庫が倒壊した場所。まず、既存の教室と教室建設のための敷地を保全するための長い土留め壁を建設。その後、整地を行なって1教室プラス基礎の建設を行なった。手前がプラス基礎部分。

撮影場所:ミグワニ県ミグワニ郡ムリリニ小学校
 撮影日:2013年8月20日/2014年3月20日
 ファイル名:1308hn244/1403hn433



エイズ・リーダー研修のための住民集会

行政官訪問の後、2年度に実施した基礎保健研修の修了者その他の住民の双方に呼びかけ住民集会にて、予定しているエイズ・リーダー研修の説明を行なう。また、地域にある保健衛生、エイズに関する課題の聞き取りも行なっている。この聞き取りを通し課題の認識を深めて、地域での話し合いを促す意図もある。

撮影場所:ミグワニ県グータニ郡ムジニ小学校
 撮影日:2013年10月1日
 ファイル名:1310hn046



土壌保全と教室補修

ムズンズー小学校は、2年度にリテンド壁をつくり、3年度に2教室の構造補修を行なった。小さな2教室と倉庫を利用して2教室分の幅を確保し、さらに後方に壁を拡張して規定サイズの2教室になった。右端が補修をしていない校長室で、補修による壁の拡張状況がわかる。

撮影場所:ミグワニ県ゼルニ郡ムズンズウ小学校
 撮影日:2014年3月20日
 ファイル名:1403hn292



エイズ・リーダー研修

2年度の基礎保健研修修了者の中から、エイズ問題への対処意識が高い人材を選抜し、エイズ・リーダー研修を33回実施、計891人を養成した。参加者は、エイズに関する理学的知識を包括的に学び、地域固有の社会的側面(HIV感染リスク・偏見・差別・子どもの性交渉リスク)などを理解し、これら課題を適切に住民に教えるための教授法研修として実施した。これら修了者が、自分の村や周辺で、日常生活のなかで、周辺住民へ標準的なエイズ情報の共有などが期待される。

撮影場所:ミグワニ県グータニ郡ティニカ区サンガカトリック教会
 撮影日時:2014年2月11日
 ファイル名:201402grc007



教室建設

カルー小学校は、谷あいでは平らな敷地が少ないため、教室を建設する場所の確保に苦労した学校。斜面の低いほうの基礎を高くすることで敷地を確保した。左上の写真は、教室内部の様子。

撮影場所:ミグワニ県ゼルニ郡カルー小学校
 撮影日:2014年3月20日/3月20日
 ファイル名:1403hn397/1403hn408



エイズ・リーダー地域学習会

このリーダーは、夫の許可をとって隣人に声をかけて家の庭先でエイズ学習会を開催し、コンドームの使い方も説明した。話を聞いている住民のなかに、夫もいる。彼女は、近隣の多くの住民がHIV陽性検査に行かず、短い期間のなかで亡くなっているのを見て、残念に思い、近くの医療施設で検査を受け、薬を飲んで長生きしてほしいと願って、学習会を開催しているとのこと。

撮影場所:ミグワニ県ゼルニ郡サタニ区サタニ個人宅
 撮影日:2013年10月10日
 ファイル名:1310hn191